

科目区分	教養科目	授業科目名	生活と音楽			科目コード	25S015	担当者	福井 昭史			担当形態	単独	
対象学科・コース	生活創造学科 栄養士コース	配当年次	2年次	開講学期	後期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件				
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び科目との関連										科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	社会人として必要な、音楽の理解力を一般教養として身に付ける。人々の生活と音楽との関わりについての理解を深める。音楽の仕組みを理解し創造的な表現の活動を体験する。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	課題や提出物等はその都度評価し、アドバイスをを行う。
授業の方法	音楽を聴いたり視聴することで、人々の生活と音楽との関わりを理解する。音楽の創造的な活動に取り組むことで、リズムや旋律など音楽の仕組みをより深く理解し、創造性を養う。	アクティブ・ラーニングの実施方法	音楽の創造的な活動を取り入れる。

回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	人間と音楽(1) 音楽の聴き方・曲想や要素の感受	授業後に音楽を様々な聴き方で味わう。
第2回	人間と音楽(2) 生活と音楽・音楽の起源に関する学説と民族音楽	人々の生活と音楽の関わりを考える。
第3回	生活と音楽(1) 子どもの音楽・日本の子どもの歌「わらべうた」の特質を理解し表現する。木琴による合奏を体験する。	子どもの生活と音楽との関わりを考える。
第4回	生活と音楽(2) 季節の音楽・日本の年末年始、クリスマスやお正月の音楽を表現する。ハンドチャイムの合奏を体験する。	それぞれの季節にちなんだ歌や音楽があることを考える。
第5回	音楽と文化とその歴史(1) ヨーロッパの舞曲・踊りの音楽とその歴史を理解する。	日常生活の中で聴いたり楽しんだりしている音楽とその歴史や背景を考える。
第6回	音楽と文化とその歴史(2) ヨーロッパの歴史と音楽・ナポレオンの時代を題材とする音楽を聴取し、歴史と音楽の関りを理解する。	日常生活の中で聴いたり楽しんだりしている音楽とその歴史や背景を考える。
第7回	音楽と文化とその歴史(3) アジアの舞台芸能・日本の歌舞伎、中国の京劇や川劇、インドのカタックダンスの豊かな表現や特質を感じ取る。	世界の国々や地域の芸能とその特質、人々と文化との関わりを考える。
第8回	楽器による表現活動(1) さまざまな楽器を用いて創造的な表現の活動を体験する。	音楽表現の楽しさを味わい、自分にとって音楽は何かを考える。

事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回
-----------------------	-----------

教科書 [書名/著者名/出版社]	適宜資料を配布する。	受講生へのメッセージ	日常生活で無意識に聞いている音楽への理解を深めましょう。創造的な活動をすることで音楽に関する基本的な知識を身に付けましょう。音楽を自分の生活の中に取り入れ、心の癒しや楽しみとし、人生を豊かなものにしましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

